

東富士ダムは農業用ため池で、豪雨の際にも一定量以下の水しか流入しない構造のため、豪雨による決壊は想定していません。また、東日本大震災のような、想定される最大規模の地震に対しても耐震性があることが確認されています。

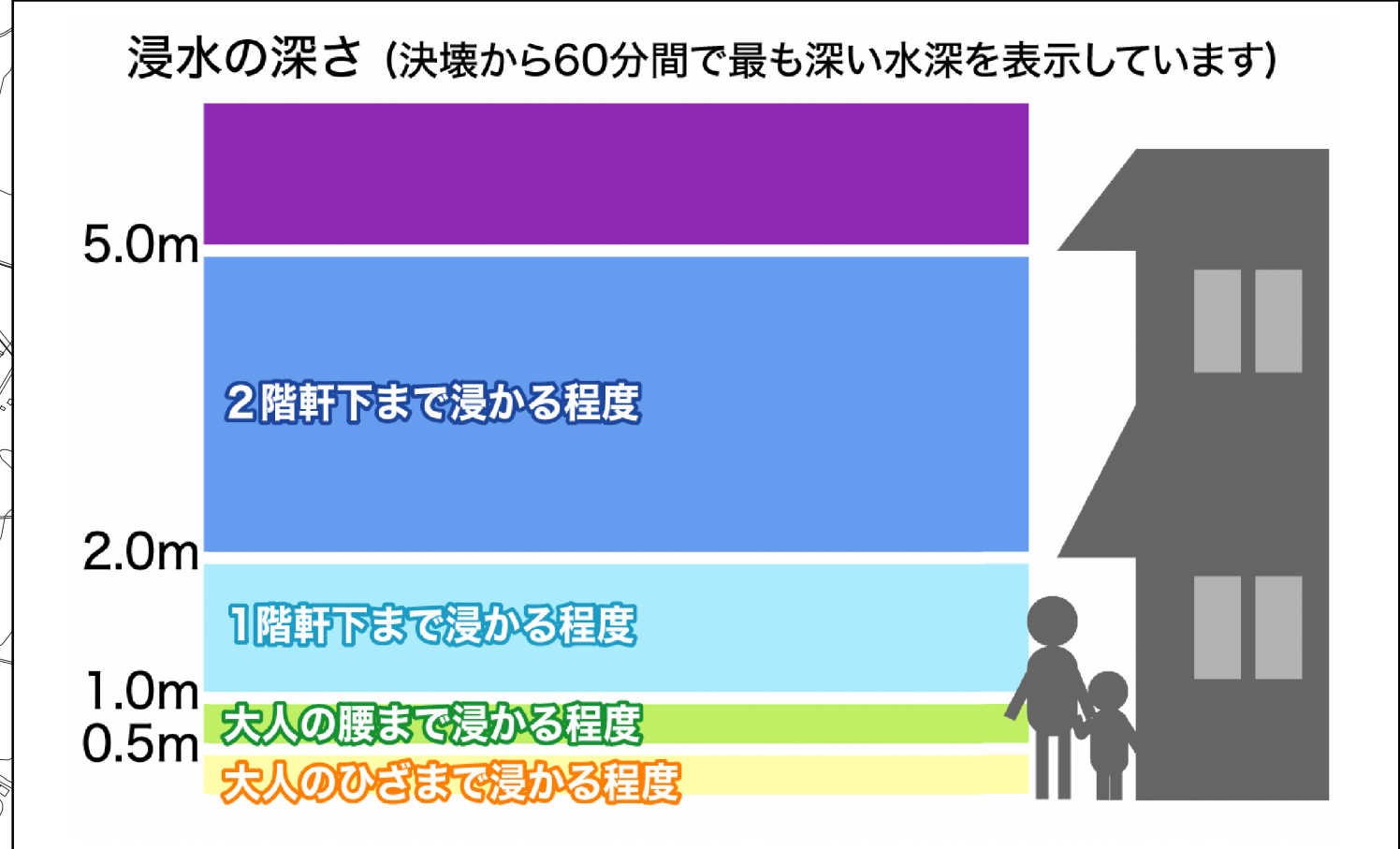
決壊から時間が経つほど水の勢いは弱くなりますが周囲の安全を確認しながら避難してください。

東富士ダムの堤防が決壊したら

屋内にいる場合
外へ避難するのは危険な場合もあります。建物の安全が確保されている場合には、二階以上へ避難する垂直避難を心がけてください。

屋外にいる場合
浸水想定区域の外か、安全な建物の二階以上へ避難してください。

避難場所へ移動する場合
建物の倒壊で避難場所へ移動しなければならない場合には、河川の水位変化や音に注意しながら移動してください。



東富士ダム ハザードマップ

令和5年3月作成

このハザードマップは東富士ダムの堤防が万一決壊し、最大貯水量の全量が流出する場合の浸水状況をシミュレーションにより予測し、一時間後の浸水範囲を表示しているものです。ただし、河川の水位が高いときに堤防が決壊した場合など、浸水範囲や浸水深がこの予測と異なる場合があります。